

他には...

- ・チャニココ(長崎県)
- ・石見神楽(島根県)
- ・古閑の虎舞(熊本県)
- ・南田島の足踊り(埼玉県)
- ・土場鹿子舞(北海道)
- ・大宮神楽(岩手県)

おどろいている人多くは、小中学生です。中学校全体で郷土芸能をしていた所もありました。

全国の子どもたちの の 郷土芸能

した。

「古典舞踊」と「野田雨乞笠おどり」を取材しました。

その中で私が取材したのは、「インドの

各地方のダンスを見ました。全国から八つのダンスが集まり、中・高生の人たちが、いまは北海道から、長崎県、日本に在りして、インドの方々も、日して、全国から八つのダンスが集まり、中・高生の人たちが、いまは北海道から、長崎県、日本に在りして、

未来
ダンス

ダンス

エクスペリメンタル D.S. 中田 瑞歩

ふるさとの
伝統を!!
野田雨乞笠おどり

愛知県刈谷市の郷土芸能です。田植後の祈りばつに苦しめられた日に雨乞いをしたそうです。そこでこの野田雨乞笠おどりが始まりました。二人一組でたいこをたたき雨乞い頭をうたいます。そこで、このおどりをとおどって、井上幸人さんを取材しました。幸さんは昔の人の気持ちを考えて、かろうど、たそうです。また中学で一度やめた、おどりのことを思い出した。たけれど伝統は大切なものだから、思い続けたそうです。これから、おどりを伝えていきたいです。

インドのダンス
広めよう

インドの古典舞踊で一番長い歴史をもつバラナシ、アムは、東南インド、パチェーナイを中心に発展してきました。神にささげるダンスとされています。そこで、このおどりをとおどっているボーヤル・シコロイヤさんを取材しました。シコロイヤさん、このダンスで大切にしていることは、お客さんを喜ばせたいことでした。また、それは、どんなダンスでも同じことだと思います。インドでも伝統がなくなってきたり、日本でも、インドでも、おどりと広めたいという思いが世界へながれると思います。

編集後記

私は最初、伝統芸能は、むずかしそうだなと思いましたが、同じ年くらいの人たちが一生けん命に伝統をつなごうとがんばっている姿がとても力になりました。また、自分たちのダンスと同じ所は、ダンスでお客さんを喜ばせるところや、その人たちに、なりきる、気持ちに入ること、同じようなことだと思いました。また、私も各地の郷土芸能をおぼえておどってみたいと思いました。